

ちやれいばらきレター



NPO法人 TSUKKURA



あいさつ・声かけ運動



花いっぱい運動定着化促進事業 認定証交付式



団体会員 鈴縫工業(株)



寺子屋サローン

CONTENTS

【特集】P4 《団体の取り組み紹介》 新しいコミュニティづくり

- P2 花いっぱい運動定着化促進事業 認定証交付式
あいさつ・声かけ運動
- P3 コミュニティワーク実践講座
NPO法人設立説明会
- P5 提案型共助社会づくり支援事業
地域円卓会議 in 茨城2022
- P6 団体会員を訪ねて Vol.1 《鈴縫工業株式会社》
新規会員紹介・入会のご案内
- P7 チャレいば助け合い隊応援事業
地域活動員〔ネットワーク〕の活動紹介
- P8 寺子屋サローン「オンラインサロンづくりの第一歩」
メルマガ登録案内



NPO法人 虹のポケット



利根町ネットワーク協議会



令和
3年度

令和3年11月30日(火)
《茨城県水戸生涯学習センター大講座室》

応募総数:54

花いっぱい 運動定着化 促進事業

認定証交付式



花づくりを通して地域コミュニティの再生・活性化を図ることを目的に、公益財団法人 げんでん ふれあい茨城財団との共催により実施しました。

認定証交付式では、チャレンジいばらき県民運動に設置した審査委員会により選考・決定した24の認定団体に、チャレンジいばらき県民運動 阿部理事長、(公財) げんでんふれあい茨城財団 高橋専務理事から認定証の交付があり、併せて目録と花壇に設置する看板が贈呈されました。初の認定を受けたつくばみらい市にある団体の方は、「自治会の予算には限りがある。支援金を有効活用して今まで出来なかったことをやりたい」と意気込みを話してくれました。審査委員からは花壇づくりや活動のポイントなどの事例紹介があり、認定された皆さんは新たな取組みに向けて熱心にメモを取られていました。

市町村	団体・学校名
水戸市	赤塚女性会
日立市	豊浦学区まちづくり推進会
日立市	なかこうじ児童公園を守る会
日立市	日立市立滑川中学校
土浦市	永国東町親睦会
土浦市	真鍋五丁目ふれあいいきいきサロン
古河市	古河市立古河第七小学校
つくば市	倉掛「四季の花」通り
つくば市	つくば市森の里自治会
つくば市	つくば市立吾妻小学校
ひたちなか市	湊本町自治会
ひたちなか市	ひたちなか市立前渡小学校
鹿嶋市	平井地区まちづくり委員会
鹿嶋市	鹿嶋市立平井小学校
常陸大宮市	常陸大宮市立美和小学校
常陸大宮市	常陸大宮市立山方南小学校
常陸大宮市	常陸大宮市立山方保育所
那珂市	鴻巣自治会
筑西市	勤行川の花と緑と鮭を育て守る会
筑西市	健康大学中学級 花壇クラブ
つくばみらい市	絹の台自治会 園芸クラブ
つくばみらい市	花あそび
阿見町	阿見緑の会
阿見町	中央東地区会



「あいさつ・声かけ運動」は、家庭、学校、地域でコミュニケーションの輪を広げる啓発運動です。県内で11月に3か所、2月に1か所で実施しました。

(公社) 茨城県青少年育成協会、青少年育成市町村会議、チャレンジいばらき県民運動の3団体が主催し、地域の方々や駅の利用者、イベント参加者に向けて、あいさつ・声かけの啓発を行いました。

「あいさつ・声かけ運動」は、人と人とのつながりを深めるだけでなく、地域の安心安全なまちづくりにも役立っています。



コミュニティワーク実践講座を開催しました!!

急激な人口減少、超高齢化社会、人々の価値観やニーズの多様化、家族形態の変化など、社会の基盤が大きく変化しており、今までにない地域課題が広がっています。

チャレンジいばらき県民運動では、共助社会の実現に向けて、身近な地域課題の解決を支援する人材を養成するため、「コミュニティワーク実践講座」を開催いたしました。受講生は、4回のオンライン講座に加え、現地研修を行い地域課題解決の手法を実践的に学びました。今後も、地域課題の解決に向けて、県民・団体・企業・行政等との連携・協働による共助の活動を推進していきます。

コミュニティワークとは？

地域課題解決の手法です。当事者一人ひとりの声を聞き、当事者同士が支えあう場をすることで、当事者らによる課題発見、解決に導きます。

受講者の声

- 参加者をお客にしない、一緒にということが大切だと思った
- 一人ひとりの意識が変わる行動は、市民性の醸成に繋がる行動だと学んだ



お問い合わせ

NPO法人 セカンドリーグ茨城

Tel.029-297-7040 Fax.029-233-2110 E-mail ▶ info@2nd-league-i.com

NPO法人設立説明会

NPOって何だろう NPO法人になると何ができるの？

チャレンジいばらき県民運動と茨城県では、NPOに関心がある方やNPO法人の設立を考えている方々を対象に、初めての方が疑問に思う制度の概要から、実際に設立するための手順、NPO法人化のメリット・デメリットまでをわかりやすくお伝えする説明会を開催しました。

設立説明会は今後も引き続き開催する予定ですので、是非ご参加ください。

(開催日時等はホームページなどでお知らせします。)

参加者の声 (NPO法人設立説明会アンケートより)

- NPO法人設立のメリット・デメリットがよく分かりました。
- 設立時、設立後の事務手続の流れが参考になりました。

また、県ではNPO法人設立に関する相談も随時受け付けていますので、事前に予約の上ご相談ください。



お問い合わせ

茨城県県民生活環境部 女性活躍・県民協働課 (多文化・協働担当)

Tel.029-301-2175 Fax.029-301-2190 E-mail ▶ josei-kenmin1@pref.ibaraki.lg.jp

NPO法人 TSUKKURA

ツックラ

「つくばの暮らしをもっと楽しく、豊かに」地域内外の方々と、
恵まれた環境を満喫する場づくり「NPO法人TSUKKURA(ツックラ)」

つくば暮らしに愛着を持つヨソモノと地元住民が協力して活動するTSUKKURA。活動拠点兼「地産地消の店」として運営するTAMARIBAR(タマリバ)は空き店舗を活用したもので、買い物や販売用自家野菜の持込みで立ち寄った地元住民と登山者やサイクリストが休憩しながら交流する「小さな町の駅」でもあります。ここに人やものが集まることで、地元の方々と利用者との交流が活性化し、移住相談、里山歩きツアー、宝篋山ガイドなどの企画が動き出しています。最近では、不登校児ケアに携わる人が「百鳥さんの敷地内にあったツリーハウス」を目にしたことをきっかけに、不登校児向けの宝篋山麓キャンプ企画が始動。また、キャンプ体験は災害時にも役立つことから、地域で起こりうる水害時の避難に活きる「防災訓練」として、地域の方にも体験してもらえようという取り組みを目指しています。大類さんは、「地域に根差した活動を長期的に続けること」を目標に、自分達が退いても活動を継続できるネットワークづくりにも取り組んでいました。

理事長 大類裕幸さん(左)、大類由美子さん(中)、
野外活動担当 百鳥三男さん(右) 篠原理さん(上)



つくば市小田3094-2
(TAMARIBAR)

NPO 法人 TSUKKURA HP



100人カイギ

県外出身の二人がヨソモノ目線で見つけた桜川市の人々の魅力を発信し、地域が抱える課題解決の助けに立ち上げた「桜川市100人カイギ」

「大学生観光まちづくりコンテスト2019」への応募を機に桜川市と関わり始めた筑波大学修士1年生の安藤さんと、元桜川市地域おこし協力隊の大川さん。地域で頑張っている人達が、他の団体などとの連携が希薄なことや、地元の人に知られていないことに疑問をもった二人は、「桜川市にゆかりのある素敵な人を紹介し、地域の人と人をつなぎたい」という想いから、「桜川市100人カイギ」を始めました。桜川市は市民団体活動が少なく、地域コミュニティのベースが弱い、と心配する大川さん。ゲストに「地元の有名人でなくとも、想いを持って何かに取り組んでいる人」にスピーチしてもらうことにこだわり、参加者から「新しい発見があった」「カイギのおかげでつながりが出来た」という声が届くたび、共助社会へ向けた活動の小さな一歩を踏み出せたと感じています。現在のヨソモノ二人の運営では限界もあるので、協力してくれる地域の若手を探しながら、「桜川の面白い人紹介」を続けたいと話していました。

キュレーター：安藤慎悟さん(筑波大学修士1年)
大川奈奈さん(さくらぼ代表)

100人カイギとは

毎回、身近で面白い活動をしている5名のゲストの話を聞くもので、ゲストが100名に達したら解散となります。全国で開催されており、県内では他につくば市、日立市があります。

100人カイギ HP



提案型 共助社会づくり支援事業



NPO法人 虹のポケット

買い物弱者支援で地域商店も応援

茨城県と常陸大宮市が協調し助成する提案型共助社会づくり支援事業を活用し、移動販売型・買い物弱者支援事業として、令和3年7月から始まった移動販売「よってく」。販売担当の横田さんは販売車で過疎地域を回り、高齢者や障がい者世帯などへの販売活動のほか、安否確認や傾聴活動を実施するなど、地域を支える見守り隊としても安心を届けています。一軒一軒歩いて利用者を探し、1日3軒程からスタート。徐々に「玄関前で買い物が出来る」「近所の人が集まる『たまり場』が出来た」と喜ぶ声の広がりや市報掲載も手伝い、今では1日20軒程に。日用品から食料品まで揃う中、一番人気は地元商店の豆腐。高齢化で衰退する個人商店の品を扱う事で、地域が抱える課題の解決と、長年親しんだ味を求める利用者の声に答えています。NPO法人虹のポケットの川野邊さんは、「地域に仕組みを根付かせて広げる事が理想」と話し、地元商店を含めた地域全体で協力し支援を担うネットワークづくりを目指しています。



NPO法人 虹のポケット 副理事長 川野邊さん(左)、常陸大宮市 地域創生課 戸澤さん(中央)、移動販売よってく 担当 横田さん(右)

■提案型共助社会づくり支援事業に関するお問い合わせ先 茨城県 県民生活環境部 女性活躍・県民協働課 Tel.029-301-2175

地域円卓会議

in 茨城 2022

令和4年2月1日(火)《オンライン開催》

～福祉的な住まいの共有を広げよう～

空き家や廃校など、増大する遊休物件の利活用が社会的課題となっております。

会議では、住宅セーフティネット法による遊休物件の利活用や居住支援の現場からの報告、シェアハウスの運営状況、また、空き家の活用による母子世帯の支援など、様々な立場の方々が、遊休物件の利活用方法を紹介・共有し、住まいの福祉的なシェアについて協議しました。

登壇者

山口 秀太 氏(国土交通省住宅局 安心居住推進課 課長補佐)
長田 健太郎 氏(株式会社 ギルドセセキュリティ代表取締役社長)
牧嶋 誠吾 氏(大牟田市居住支援協議会 事務局長)
木本 一颯 氏(NPO法人 いろり 代表)
葛西 リサ 氏(追手門学院大学 地域創造学部 准教授)

コーディネーター

横田 能洋 氏(認定NPO法人 茨城NPOセンター・コムズ)



団体会員を訪ねて Vol.1

鈴縫工業株式会社

茨城県日立市城南町1-11-31
<https://www.suzunui.co.jp/>



事業 内容

- 土木、建築、上下水道ならびに管工事の請負、企画、設計、監理、施工、およびコンサルティング業務
- 不動産売買、仲介、賃貸借および管理
- 太陽光発電



代表取締役社長
鈴木 達二さん

鈴縫工業株式会社は大正7年(1918年)に創業以来「地域の守り手」として社会インフラ整備の一端を担いつつ、従来の企業活動にとどまらず、新たな活動を通じて地域の活性化に取り組む総合建設業。

創業100周年となる2018年に「支えていただいた地域への恩返し」として、「おひさまの恵みプロジェクト」を始動。青少年健全育成に係る活動に対し、太陽光発電事業の収益から年間500万円を20年間にわたり助成する。地域の若者を応援することで「将来の地域の担い手」を育てるだけでなく、建設業界や地域が抱える「若い働き手不足」解消への望みも託しています。鈴縫初の「自社発信」地域貢献活動について、諸橋さんは「社員へのブランディング」にもなり、また「地域貢献も仕事の一つ」という感覚が社員に浸透したことは、会社としても大きな一歩、と話しています。支援件数は、初年度の15件から今年度は26件まで増えましたが、鈴木社長は「もっと多くの人に知ってもらい、有効活用してほしい」と話したうえで、「助成することが将来的に会社の成長につながるよう努めたい」と抱負を語っていました。

代表取締役社長 鈴木 達二さん

総務部部長 諸橋 良輔さん



総務部部長 諸橋 良輔さん

チャレンジいばらき県民運動

新規団体会員 の紹介

令和3年12月～令和4年2月

株式会社仲川建設

筑西市井上1356

株式会社鯉淵工業

水戸市鯉淵町1199



株式会社東京電機

つくば市桜三丁目11番地1



ザ・ヒロサワ・シティ

筑西市ザ・ヒロサワ・シティ



NPO 法人 日本スポーツ振興協会

つくば市大角豆1744



会員募集

チャレンジいばらき県民運動では、福祉、環境、青少年、防犯・防災など様々な分野での地域活動・市民活動を、県民・団体・企業・行政が手を繋いで支え合い、共助による新しい茨城の実現に向けて、社会の課題に挑戦する県民運動を展開しています。このような趣旨にご賛同され、運動に参加していただける団体・企業、個人の会員を募集しております。

★団体会員(年会費) 10,000円

★個人賛助会員(年会費) 2,000円



チャレンジ 助け合い隊

応援事業

利根町ネットワーク協議会

《活動内容：環境美化保全及び障がい者自立支援》

雑草が茂り通行の支障となっていた道路の除草作業に併せ、草花の植栽を実施。花きの植栽は障がい者の社会的自立を支援している団体と協働し、自立支援に寄与。



茨城町ネットワーク等連絡協議会

《活動内容：涸沼周辺クリーン作戦》

ラムサール条約湿地に登録された涸沼周辺の清掃活動をサイクリングロードまで範囲を拡充して実施。観光客やサイクリストの安全確保と環境美化に取り組む。



令和3年度から新たに、地域で実践活動をしているネットワーク等連絡協議会等が行う、行政の支援が届きにくい、地域での切実なニーズに対応するためのボランティア活動に対して助成を行っています。

那珂市ネットワーク等連絡協議会推薦

瓜連地区まちづくり委員会 古徳沼の自然を守る会

《活動内容：継続的な古徳沼・里山の環境保全活動とオオハクチョウ飛来有数の地である古徳沼の広報活動》

不法投棄等により荒廃が進んでいる古徳沼周辺の環境保全や憩いの地の回復を目指して活動。古徳沼の魅力をSNSやホームページの作成により市外、県外、国外に発信。

下妻市ネットワーク等連絡協議会

《活動内容：スキルアップ研修“スマホ講座”》

市では市報やホームページ以外にLINEやFacebook等で市内の情報を発信していることから、IT機器に不慣れな高齢者を対象にスマホ講座を開催し、情報弱者対策の一環とする。

筑西市ネットワーク協議会推薦

県西フードパントリー

《活動内容：フードパントリー（生活困窮世帯向け支援対策）》

筑西市内の生活に困っている世帯を対象に補助金の活用併せて、市民、企業から寄付を募り、食品やトイレットペーパーなどの生活用品を配布するフードパントリーを実施。

県民運動を地域で支える 地域活動員の活動紹介

ネットワーク



美浦村魅力発見ツアー
(鹿島海軍航空隊基地跡)

大好き美浦村 ネットワーク協議会

当協議会は平成8年の発足以来「やさしさとふれあいのある地域づくり」を進めることを目的として、会員は男性8名、女性17名の計25名で組織し、各種事業を展開しております。

主に、「美浦村に住みたい!住み続けたい」を目標として、清掃活動や花苗の植栽など環境美化活動に取り組んでいます。また、「美浦村の魅力を再発見し、その魅力を伝えよう」を目指して、美浦村の優れた魅力や資源などを自慢できるように、年に1度「美浦村魅力発見ツアー」を実施し、村内の貴重な文化財や美しい自然を観察したり、村内立地のJRA美浦トレーニング・センターなどの企業視察を行っています。

会長 松本 政幸

チャレンジいばらき県民運動

ネットワーク 募集中!

地域活動員（ネットワーク）は、居住する地域において、地域の人たちのネットワークづくりや住み良い地域づくりに取り組んでおり、現在、約860名の方が県内各地で活躍しています。皆さんも、一緒に活動しませんか？

詳しくは、
お住まいの市町村へ
お問い合わせください。

令和3年度

寺子屋 サルーン

NPO・地域活動者向け
交流・学び合いの場



第25回

「オンラインサロンづくりの第一歩」を 開催しました!

令和3年12月19日(日)《交流サルーンいばらき》

令和3年12月19日(日)、オンラインでの居場所づくり活動を行う、つくば市の市民団体UDワーク代表の前田亮一氏を講師にお招きし、第25回寺子屋サルーン『オンラインサロンづくりの第一歩』を開催しました。

今回は、Zoomを使ったオンラインサロンについて、事前準備から運営までのステップを学び、様々な注意点を教えていただきました。また、UDワークのサポートによって、高齢の方がオンラインサロンを運営している事例を紹介していただきました。実際にZoomでのやりとりを体験したり、参加者の皆さまのお悩みを共有して意見交換したりと、オンラインサロン運営への理解が深まる講座となりました。



各サービスや
講座の詳細は、
お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ

交流サルーンいばらき 水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2階

Tel.029-302-2160 Fax.029-233-0030

ホームページ ▶ <https://challenge-ibaraki.jp/saloon/>
E-mail ▶ saloon@challenge-ibaraki.jp



〔開館時間〕

9:30～12:00、13:00～17:45

平日・土日

(火曜日・祝日・年末年始は休館)

投稿記事を募集しています!

チャレンジいばらき県民運動では、茨城県内各地域の情報や、地域活動員(ネットワークカー)の活動の投稿記事を募集しています。投稿していただいた内容は、広報紙「ちゃれいばレター」や当県民運動ホームページ上でご紹介する予定です。ぜひ、お気軽に投稿してください。

投稿方法



「地域活動情報」
はコチラへ

「取り組み情報」
はコチラへ

メルマガ会員を募集しています!

「ちゃれいばメールマガジン」は、チャレンジいばらき県民運動・交流サルーンいばらきからのお知らせや地域活動の最新情報やお役立ち情報を提供するメールマガジンです。

登録方法

右のQRコードを読み込んでいただくか、
下記のメールアドレスに空メールをお送りください。

challengeibaraki@y.bmd.jp



毎月1回程度お届け予定です。
ぜひご登録ください!

編集後記

感染症の流行で、当たり前の日常が変わってしまいました。人と人が集まり、食事したり会話したりすることが、まるで悪いことのように言われ、必然的にその関係は希薄なものになりつつあります。それで良いとは思えません。こんな時こそ寄り添い、助け合うことが大事です。もう一度、つながり合える心を取り戻すために、ちゃれいばレターを役立てていただければ幸いです。(高橋)

新型コロナの影響を受け、やむを得ない状況下での制作の取り纏めは大変ですが、ご協力の皆様に感謝いたします。早い終息を願います。(西村)

令和3年度より、広報紙企画、編集に参加しておりますが、コロナ禍の為に色々な企画に参加できず残念でした。早くコロナが終息してほしいです。(飯住)

県内各地の話題を掲載していますが、今後は、紹介した話題が各地域でどのような広がりをみせているのかについてもご紹介できればと考えました。(河野)

コロナ禍でも、県内各地で元気に活動しています。その様子が少しでも皆様に伝われば嬉しいです。今後も地域に寄り添った活動をしていきます!(後藤)

メルマガが始まりましたね。広報紙に載せきれない情報もメールで受け取れます。私はさっそく登録しました。(井川)

チャレンジいばらき県民運動 広報紙

〔発行〕チャレンジいばらき県民運動 令和4年3月1日発行
〔編集〕県民活動推進員(魅力発見・発信グループ)

お問い合わせ

チャレンジいばらき県民運動 事務局

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38 Tel.029-224-8120 Fax.029-233-0030

ホームページ ▶ <https://challenge-ibaraki.jp> E-mail ▶ info@challenge-ibaraki.jp

